

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：脳と情報からみる心の病 ILAS Seminar :Psychiatric Disorders in Brain Informatics			担当者所属 職名・氏名	情報学研究科 准教授 後藤 幸織		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	10 (5) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 8月25～28日ま たは9月1日～4 日	教室	先端科学研究棟509 (医・薬・病 院構内)			使用言語	日本語及び英語
キーワード	精神神経科学 / 認知脳科学 / 精神疾患 / 発達障害 / 神経心理学						
[授業の概要・目的]							
本講義では、こころの問題とされる精神疾患や発達障害について、「人間にとって、はたして本当に病気や障害なのか？」という問いを中心に、神経科学、心理学、情報学、進化医学といった多角的な学問領域から基礎的な知識と理解を、理系・文系を問わず学べる内容で伝えることを目的とする。 また、精神疾患や発達障害が教育や法といった社会的な観点からどのような問題となり、どうすれば解決できるのかといったことを議論する。 さらに、精神疾患や発達障害の基礎研究で用いられる調査や計測機器を使用した実習体験を通じて、理解を深める。							
[到達目標]							
・精神疾患や発達障害とは何か（神経心理・生物学的なメカニズム、ヒトにとっての存在意義、療育や治療方法の現状など）について理解する。 ・神経科学や心理学の基礎について理解する。							
[授業計画と内容]							
I.授業形式・日程・場所							
夏期休暇中(8月最終週～9月第1週)に4日間の集中講義形式で行う。5名以上の受講希望者がいた場合は、2グループに分けて行う。 講義ならびに実習を行う。 開講は医学部構内先端科学研究棟にある研究室を予定している。							
II.講義・実習の内容							
(1)精神疾患や発達障害についての基礎的な内容の講義 ・イントロダクション(1日目) ・脳科学の基礎(1日目) ・病跡学と創造性の脳科学(1・2日目) ・生物学的精神医学とは？(2・3日目)							
				ILASセミナー：脳と情報からみる心の病(2)へ続く↓↓↓			

ILASセミナー：脳と情報からみる心の病(2)

- ・計算論的精神医学とは？(2日目)
- ・進化精神医学とは？(3日目)

(2)精神疾患や発達障害と実社会との関連についての議論

- ・精神疾患と教育との関連(2日目)
- ・精神疾患と法との関連(3日目)

(3)実習

- ・脳科学の研究手法(3日目)
- ・非侵襲の脳活動計測(4日目)
- ・心理実験(4日目)

[履修要件]

神経科学や心理学の基礎的内容の講義（「神経科学の基礎」等）を事前に履修していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

平常点評価(出席と議論等への参加状況)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

ピネル 『バイオサイコロジ-: 脳-心と行動の神経科学』（西村書店, 2005年）ISBN:4890133356

ピネル 『脳と心のカラ-リングブック: 塗り絵でマスター-する神経解剖』（西村書店, 2012年）ISBN:489013428X

ランドルフ・M・ネシー 『なぜ心はこんなに脆いのか: 不安や抑うつ進化心理学』（草思社, 2021年）ISBN:4794225342

（関連URL）

<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/goto-laboratory/>(研究室ホームページ)

[授業外学修（予習・復習）等]

講義までに神経科学や精神医学などの入門書を読んでおくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・実習を行うため、学生教育研究災害傷害保険へ各自加入しておいてください。
- ・採点報告日(8月中旬)以降に集中講義で実施するため、成績報告が遅れる可能性があります。
- ・履修登録期間終了後、講義の日程調整ならびにガイダンスを行います。